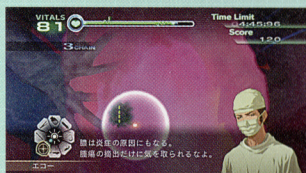
スキャナ

コマンド
［エコー］探知したいポイントにカーソルを合わせる。Ⓐボタンを押すとリングが広がる
［ルーペ］Ⓑボタンを押したまま、矢印のカーソルをスライドさせる

コントロールスティックを左下に入力することで選択できるスキャナは、エコーとルーペの2種類の機能が用意されている。スキャナ選択時はエコーの機能が優先され、Ⓑボタンを押し続けるとルーペの機能に切り替わる。

エコーの機能

臓器内に隠れている病巣を探知したり、その影を表示させる機能。エコー選択時はポインタにリングが発生し、そのリングの範囲内に病巣や寄生したスティグマが潜んでいると、それらが映し出される。さらにⒶボタンを押すことでリングが広がり、その場所にある患部の影を一定時間表示する。影を表示させればリングを当て続ける必要はなく、さらに別の場所を探知したり、他の器具に切り替えて表示させた患部の処置を進めることもできる。

リングをスライドさせて患部を探知。影を表示させたいときはⒶボタンを押そう。

ルーペの機能

術野が移動できる場合のみ選択可能で、Ⓑボタンを押したままにするとポインタに矢印が表示される。その際に矢印のカーソルをスライドさせると、その方向に術野が移動する。矢印は四方向だが、斜めにも移動可能だ。

ルーペで術野を移動させる。画面端の矢印は、その方向に移動できることを示す。

ピンセット

コマンド
異物の上でⒶボタンとⒷボタンを同時に押し続ける

切除した腫瘍や異物をつかんで摘出する器具。つまみたい場所にポインタを当て、ⒶボタンとⒷボタンを押せば異物をつかめる。そのままの状態でポインタをスライドさせれば、つかんでいる異物を運ぶことができる。

リモコンで向きを変える

ピンセット選択時にWiiリモコンをひねると、その方向にピンセットの向きを変えることができる。異物をつまんでいるときはもちろん、つまむまえから向きを変えておくと、横にはさむ感覚でボタンを押せるので、本物のピンセットを使うのと同じ要領で操作ができる。

切り離した異物の除去や開いた傷口を閉じる処置はピンセットで作業を行なう。

片方のボタンを押しておく

異物をつかむときは、あらかじめ片方のボタンを押しておき、つかむときに残りのボタンを押すようにすれば、同時押しよりもポインタが動きにくい。離すときも、同様に片方のボタンだけを離してポインタのズレを防ごう。

つまんだ異物は、落とすことなく、回収トレイまでスライドさせてから離そう。

追加トレイが出現

人工膜やチップなどを置く追加トレイはピンセット選択時のみ出現。他の器具を選ぶと画面外に消える。

保護テープ

コマンド
ⒶまたはⒷボタンを押して保護テープを選択。始点でもう一度ボタンを押し、そのままカーソルをスライドさせて終点でボタンを離す

術野を閉じたあとに、縫合した部分を保護する特殊器具。縫合を行なうと画面左に出現するので、保護テープをⒶまたはⒷボタンを押して選択。その後、縫合痕の端にカーソルを移動させ、そこでⒶまたはⒷボタンを押しっぱなしの状態で配置し、そのままカーソルをスライドさせて反対側の端でボタンを離せば貼り付け完了となる。

縫合痕を隠すように保護テープを貼り付ける。ミスなく張れば手術も完了だ。

Z B カウンターショック

コマンド
Wiiリモコンをセンサーバー方向へ押し出し、チャージメーターがグリーンゾーンに来たときに、Ⓑボタンとヌンチャクの🅉ボタンを同時に押す

心停止した患者の心肺機能を復活させる特殊器具。心停止が発生すると自動的に画面中央にカウンターショックが出現するので、Wiiリモコンをセンサーバーへ向けて押し出そう。これに成功すると器具を患者に近づけた後にチャージメーターが出現する。あとはメーターが緑のゾーンに止まるようにタイミングよくⒷボタンとヌンチャクの🅉ボタンを同時に押す。緑のゾーンに止まると成功で、電気が流れて心臓が蘇生する。ちなみに、カウンターショックを成功させると、患者のバイタルが15回復する。

カウンターショックの操作中は別の器具が選べないうえ、バイタルは低下する。

カウンターショックの手順

Wiiリモコンをセンサーバー方向に押し出し、パドルを患部の胸部に押し当てる。成功するまで続けよう。

パドルの押し出しに成功すると、チャージメーターが出現。一定時間でゲージが動き出す。

Ⓑと🅉ボタンを同時に押して、メーターを緑のゾーンに止めよう。成功するまで何度でも行なうこと。

心臓マッサージ

コマンド
手の輪郭が重なったときに、ⒶボタンとⒷボタンを同時に押す

カウンターショックを使わずに、停止した心肺機能を戻す特殊能力。心停止が発生すると自動的に画面中央に手のアイコンが出現するので、ガイドラインが手の輪郭と重なるときを狙ってⒶボタンとⒷボタンを同時に押す。成功するたびに心臓を直接手でマッサージする。この処置を一定回数行なうと心拍が復活する。

入力に成功しても規定回数分行なう必要がある。続けてボタンを押そう。